

5. 増加する外国人児童生徒等への教育の在り方について

(1) 基本的な考え方

- 外国人の子供たちが共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であることを前提に、関連施策の制度設計を行うことが必要
- キャリア教育や相談支援の包括的提供、母語・母文化の学びに対する支援が必要
- 日本人の子供を含め、異文化理解・多文化共生の考え方に基づく教育の更なる取組

(2) 指導体制の確保・充実

- ① **日本語指導のための教師等の確保**
 - 日本語と教科を統合した学習を行うなど、組織的かつ体系的な指導が必要
 - 日本語指導が必要な児童生徒への指導体制の充実
 - 日本語指導・母語による支援等の専門スタッフの配置促進と支援体制の構築
- ② **学校における日本語指導の体制構築**
 - 日本語指導の拠点となる学校の整備と、拠点校を中心とした指導体制の構築
 - 集住・散在等、地域の実情を踏まえた体制構築の在り方の検討
 - 拠点校方式等の指導体制構築や初期集中支援等の実践事例の周知
- ③ **地域の関係機関との連携**
 - 教育委員会、首長部局、地域のボランティア団体、日本語教室等の関係機関との連携促進
 - 特に、教員養成大学や外国人を雇用する企業等との連携

(3) 教師等の指導力の向上、支援環境の改善

- ① **教師等に対する研修機会の充実**
 - 「外国人児童生徒等教育を担う教師等の養成・研修モデルプログラム」の普及
 - 日本語指導担当教師等が専門知識の習得を証明できる仕組みの構築
- ② **教員養成段階における学びの場の提供**
 - 教員養成課程における外国人児童生徒等に関する内容の位置付けの検討
- ③ **日本語能力の評価、指導方法・指導教材の活用・開発**
 - 「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」や外国人児童生徒等教育アドバイザーを活用した、日本語能力評価手法の普及促進
 - 情報検索サイト「かすたねっと」に登録する教材等の充実や検索機能の充実、多言語により学校生活を紹介する動画コンテンツの作成・配信
- ④ **外国人児童生徒等に対する特別な配慮等**
 - 障害のある外国人児童生徒等に対して、障害の状態等に応じたきめ細かい指導・支援体制の構築
 - 障害のある外国人児童生徒等の在籍状況や指導・支援の状況把握

(4) 就学状況の把握、就学促進

- 学齢期の子供を持つ外国人に対する、就学促進の取組実施
- 学齢簿の編製にあたり全ての外国人の子供の就学状況についても一体的に管理・把握するなど地方公共団体の取組促進、制度的な対応の在り方の検討
- 義務教育未修了の外国人について、公立中学校での弾力的な受け入れや夜間中学の入学案内の実施促進

(5) 中学生・高校生の進学・キャリア支援の充実

- 外国人児童生徒等の進学・就職等の進路選択の支援
- 公立高等学校入学選抜における外国人生徒等を対象とした特別の配慮（ルビ振り、辞書の持ち込み、特別定員枠の設置等）について、現状把握、情報共有による地方公共団体の取組促進
- 中学校・高等学校段階における進路指導・キャリア教育の取組促進
- 取出し方式による日本語指導の方法や制度的な在り方、高等学校版JSLカリキュラムの策定の検討
- 小・中・高等学校が連携し、外国人児童生徒等のための「個別の指導計画」を踏まえた必要な情報整理・情報共有の促進

(6) 異文化理解、母語・母文化支援、幼児に対する支援

- 学校における異文化理解や多文化共生の考えが根付くような取組促進
- 異文化理解・多文化共生の考え方に基づく教育の更なる普及・充実、教員養成課程における履修内容の充実
- 家庭を中心とした母語・母文化定着の取組の促進、学校内外や就学前段階における教育委員会・学校とNPO・国際交流協会等の連携による母語・母文化に触れる機会の獲得
- 幼児期の特性を踏まえた指導上の留意事項等の整理、研修機会の確保

令和6年度版

渋谷の教育

つくろう。ちがいを活かし合える、未来の学校。

新校舎でのラーニング・コモンズ イメージ図



探究「シブヤ未来科」 “一人一人の学ぶペースや、一人一人の興味の先行を大事にして、自ら創る学び”

探究

私の、渋谷の、世界の未来をつくろう。

- ・令和6年度から、区立全学校でスタート!
 - ・学びをより主体的・探究的に、より対話的・協働的に!
 - 未来に求められる3つの資質・能力を育成
- 自己調整力 創造力 挑戦力**

誰もが幼児期に経験した遊びに没頭するワクワク感や好奇心、一人一人に備わった自ら学ぶ力や創造性を発揮し、学んだ知識を活かして新たな知見を創造します。渋谷区ならではの文化、芸術、自然、先端技術など様々なリソースを生かした大変を通して、感動や疑問、興味から生じた問いを、各教科で身に付けた見方や考え方を活かして深掘りしていきます。



グローバル体験
《児童・生徒海外派遣研修》

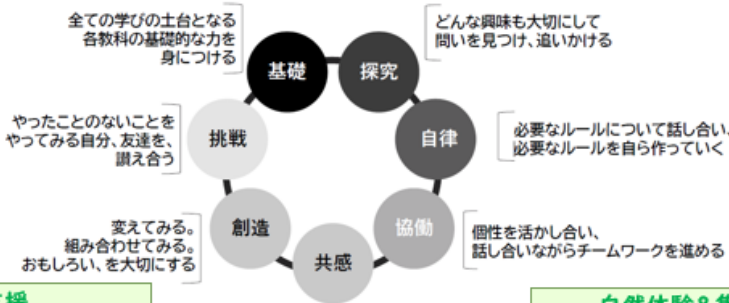
異文化を理解し、国際的視野や感覚を養う機会を提供するために、フィンランド共和国とシリコンバレーへの児童・生徒派遣を行っています。

架け橋プログラムの実施

【ねらい】
幼保小の関係者が連携し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有しながら、カリキュラム・教育方法の充実・改善を図ります。

【内容】
幼保小関係者の対話、架け橋期カリキュラムの開発・実践、子どもたち同士の交流等

未来の学校で大切にすべき7つの力（渋谷区教育目標）



教育データ活用の取組

“Bad Next”から“Good Next”への転換

子供たちの小さなSOSを早期発見・早期支援するための取組

振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげたり、他者の良さや頑張りを承認する体験を通して、自分の気づかなかった良さや可能性も認識できる機会を提供します。

教員向けダッシュボード

HACHIアプリ：学習・生活の振り返り 児童生徒レポート

メタバース空間を活用した不登校支援

【VLP活用のねらい】
不登校児童・生徒にとって、安心して利用できるオンラインの居場所を提供します。

【活用方法】
心理士への相談、不登校児童・生徒のコミュニケーションの場、ドリル学習やけやき教室相談員への質問、けやき教室のライブ配信、レクリエーション、東大先端研による不登校支援プログラム

【成果】
◇コミュニケーションの機会の増加
✓リアルなけやき教室へのきっかけ
✓家から一歩も出なくても人と話せる機会
◇不登校支援策の幅の広がり
✓何にも繋がっていない児童・生徒へのリーチ

渋谷区独自の給食

区内大使館やS-SAP企業との協働による特別メニュー提供等、日本の給食を目指しています。

自然体験&集団宿泊体験 & 日本の歴史体験

- ・小4 (移動教室・1泊2日)
- ・小5 (夏季施設・2泊3日)
- ・小6 (夏季施設・2泊3日)
- ・中2 (移動教室・2泊3日)

放課後クラブ

区内全小学校内の安全な環境で、子どもたちに楽しい放課後の時間を提供しています。探究型の学びを支援するようなプログラムも各種用意しています。

シブヤ部活動改革プロジェクト

《渋谷スポーツ協会》

(一社)渋谷スポーツ協会と連携して、スポーツや文化活動等生徒のニーズに沿った部活動を設置し、部活動を推進しています。また、地域の企業や外部人材とつながり、部活動の地域移行を進め、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組んでいます。

新たな価値を創造し、イノベーションを創出する学びへの転換

<p>教師による一斉授業</p> <p>一定のレベルを想定した質の高い授業展開</p>	<p>主体</p> <p>子供主体の学び</p> <p>子供の理解度や認知の特性に応じて自分のペースで学ぶ</p>	<p>学年に關係なく</p> <p>学年・学校種を超え学ぶや学年を越した学び</p>	<p>教科</p> <p>教科等横断・探究・STEAM</p> <p>教科の本質の学びとともに、教科の枠組みを超えた実社会に活きる学び</p>	<p>デジタルを活用した時間と空間に制限されない学びの場</p>	<p>グループワーク等の目的に応じて柔軟に変化するラーニングスペース</p>
<p>Teaching</p> <p>指導書のとおり計画を立て教える授業</p>	<p>教師</p> <p>Coaching</p> <p>子供の主体的な学びの伴走者へ</p>	<p>学校種</p> <p>学年</p> <p>同一学年で同一学年で構成され該当学年の学び</p>	<p>教科</p> <p>教科担任制のもと教科ごとの指導</p>	<p>多様な人材・協働体制</p> <p>多様な教員集団</p> <p>理数、発達障害、ICT、キャリアなど専門性を活かした協働体制</p>	
	<p>空間</p> <p>教室以外の選択肢</p> <p>教室になじめない子供が教室以外の空間でも</p>	<p>教職員組織</p> <p>同質・均質な集団</p> <p>教員養成学部等を卒業し、定年まで勤めることが基本</p> <p>万能を求められる教師</p>			